

広報ひがしかわ

No.315 62/4

■発行 東白川村 ■編集 東白川村総務課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
 ■☎05747>8-3111・内線34 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷有限会社

今井福男
今井幸四郎
安江貢

井上鉄夫 文告元雄
古田一三 文告泰郎
村本富郎 山本幸二
東本富三 山本富雄



春を告げるさね振り踊りが、4月11日五加神社の春祭りに奉納されました。小・中学生が笛や太鼓のおはやしに合わせて踊る素朴な踊りは、忘れかけていた郷愁を呼び起こしてくれます。

—— 五穀豊穡を祈念するさね振り踊り ——

人口の動き

→3月末住民登録人口から

世帯数	9,216世帯
人口	3,568人
転入	40人
転出	48人
出生	3人
死亡	4人

先月と比較して9人減
 昨年と同月と比較して18人増

昭和三十二年予算

予算総額は

22億7,623万円

()内は前年度対比

一般会計	14億7,000万円 (8.1%増)
特別会計	8億0,623万円 (15.6%減)
総計	22億7,623万円 (1.7%減)

三月九日から十一日までの三日間にわたって開かれた第一回村議会定例会で、昭和六十二年の村の予算が決まりました。

一般・特別会計を合わせた予算総額は、前年度より三千八百八十三万円下回る二十二億七千六百二十三万円。伸び率はマイナス・七%となっています。

歳入の中心は交付税 村税は二・一%の減

一般会計の歳入総額は十四億七千万円(対前年度当初比八・一%増)で、一億一千万円の増額となりました。

増額した主な理由は、前年度に企業誘致をした岐阜部品株式会社等の工場用地購入費と敷地造成に要した費用を、第三セクターの株式会社東白川から受け入れて、一般会計に計上したためです。

この一般会計の歳入の中で最

も大きな財源は、地方交付税で前年度に比べ四・五%増の六億九千五百万円が見込まれています。

また、皆さんから納めていた村民税や固定資産税などの税収入は、前年度に比べ二・一%の減収となっています。

その主なものは、村民税で給与所得などの自然増があるものの地方税法の改正による控除額の引き上げが見込まれるため、三百三十万円の減。

ちなみに村税は、歳入の一〇・三%に当たる一億五千九百九十六万円が見込まれており、これを一世帯当たり換算すると約十六万四千円、住民一人当たりでは約四万三千円となります。

本年度も、村税その他の財源の伸びが期待できないのをはじめ、地方交付税や国・県支出金などの依存財源もわずかな伸びや減少傾向にあり、総額では前年度より増えたものの全体的にみて、依存財源が七割以上を占めており、依然として三割自治の域に達することができない苦しい台所といえます。

29・4%占める 農林水産業費

一般会計の歳入の中で最も大きいのは、農林水産業費でこ

数年連続してトップの座を占めています。

本年度は、歳出総額の二九・四%に当たる四億三千九十二万円(七・五%増)が計上されています。

主な事業の内容は、本年度から水田農業確立対策事業が実施されることになり、水田の有効利用を行うための園芸振興にコンテナの導入、トマトハウス設置補助金、農村総合整備モデル事業の柏本東線改良舗装工事、大明神線改良舗装工事、中通農村公園整備など。

林業費では、間伐促進総合対策による百六十軒実施の補助金、産直住宅建設促進補助金、継続事業の下野林道開設工事。二年目となった林業地域総合整備事業では、大沢林道開設工事、久須見大野林道改良工事、小峠集落林道舗装などが計上されています。

土木費では、継続事業の西洞本線改良及び一・二号橋整備、柏本本線改良工事、村道の維持修繕費などが見込まれています。また、衛生費では水道計画策定の調査費を計上。教育費では、旧神土小グラウンドに夜間照明を新設し、神土地区住民のコミュニケーションの拠点施設として整備されることになっています。

予算用語 | ロメモ

▶一般会計

特別会計を除いたあらゆる行政に必要な収支を経理する会計を一般会計といいます。

▶特別会計

予算はあらゆる歳入歳出を一つの会計でまとめて計理するのが望ましいこととされています。しかし、複雑膨大化した村の事務事業を一つの予算で経理することは、かえって適当でなく困難です。

そのために特定の事業を行う場合や、特定の歳入で特定の歳出にあてる必要がある場合に行う会計をいいます。

▶地方交付税

国が国税の一定割合を地方公共団体(村)の財政事情に応じて配分するもので、自主財源の少ない市町村ほど交付の割合が高くなります。

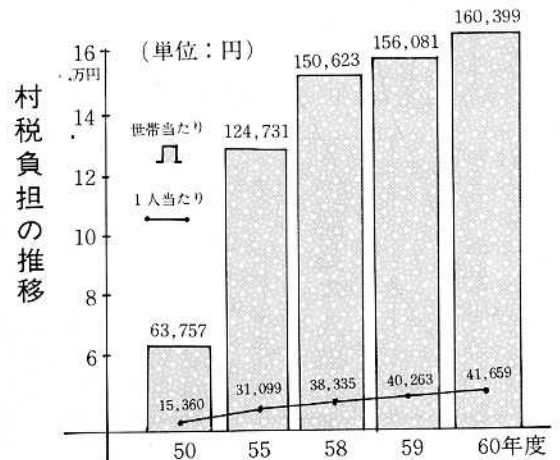
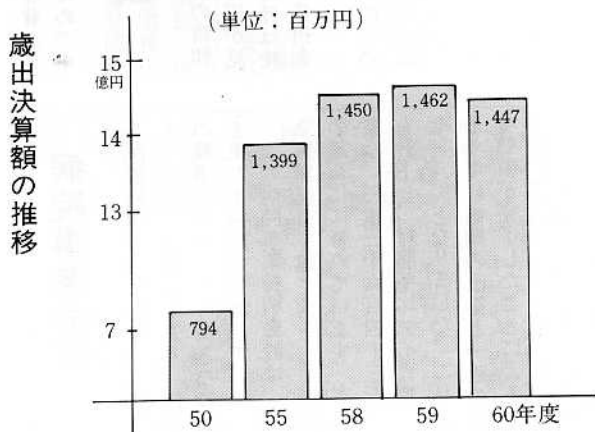
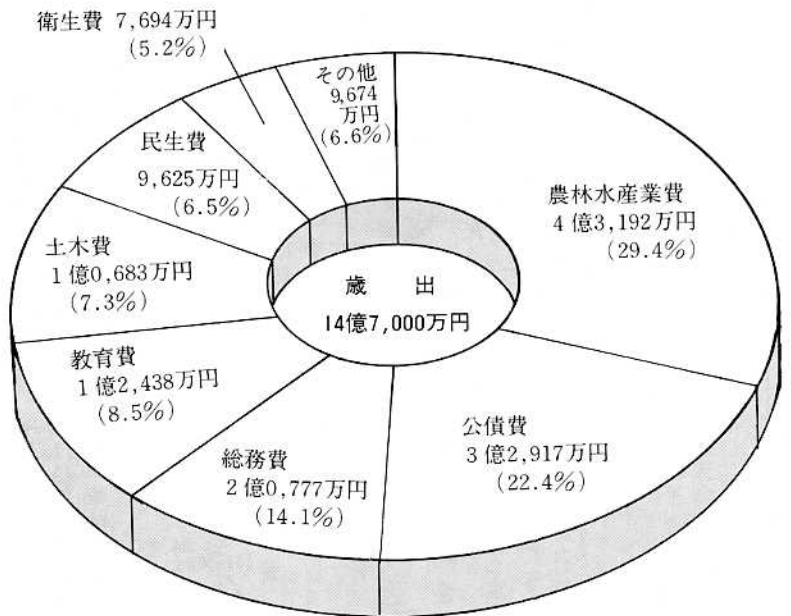
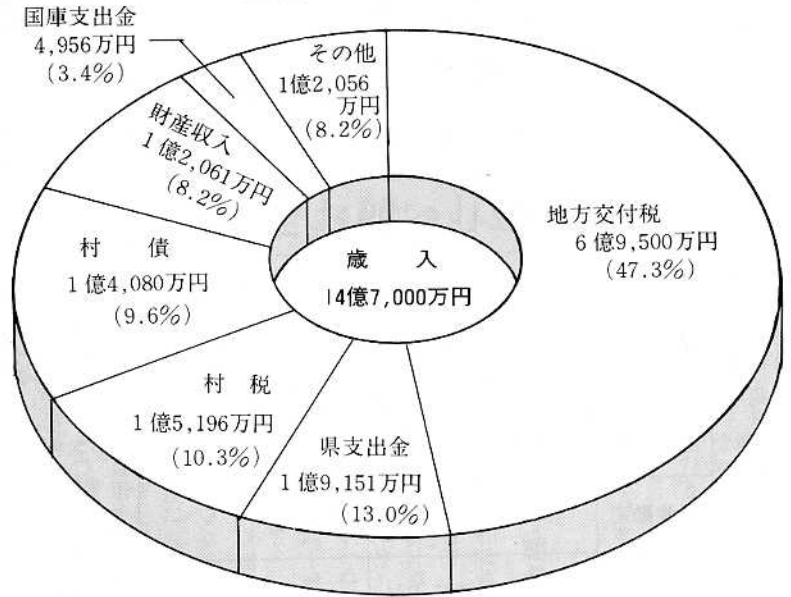
▶国・県支出金

村が事業を行う場合に、国や県が事業費の一部を助成するお金ですが、定められた事業に使わなければなりません。

▶村債

村が歳入の不足を補うために資金の借入れを行うことによって入るお金です。

一般会計歳入歳出の内訳



昭和62年度特別会計予算

(単位：千円)

区 分	本年度	前年度	比 較	対比(%)	
国 保 会 計	250,000	260,000	△ 10,000	96.2	
分収造林会計	0	100	△ 100	—	
老人保健会計	197,000	209,800	△ 12,800	93.9	
有 線 会 計	22,800	19,100	3,700	119.4	
病院会計	損益勘定	329,500	301,000	28,500	109.5
	資産勘定	6,934	165,064	△ 158,130	—
計	806,234	955,064	△ 148,830	84.4	

特別会計

国保会計

村の人口の約七割を対象に医療費の七割給付（退職者医療制度の該当者は一部八割給付）をはじめ、高額療養費、助産費などを給付する国民健康保険制度（被保険者それぞれの世帯の収入などに応じてお金を出し合い、必要な費用に当てる相互扶助精神のもとに営まれている制度）の会計です。

国保会計の財源は、皆さんに納めていただく保険料のほか国や基金からの負担金や補助金で

まかなわれています。
この会計の本年度予算は、二億五千万円で、前年に対し三・八％の減となっています。

老人保健会計

老人保健特別会計は、七十歳以上の人と六十五歳以上のねたきり老人にかかる医療費を取り扱うもので、この会計の財源は七割相当額が各保険者からの拠出金で、残りの三割は、国および県費でまかなわれています。
本年度予算は、一億九千七百万円を計上しました。対前年比

六・一％減、これは医療費が見込みより伸びなかったためです。

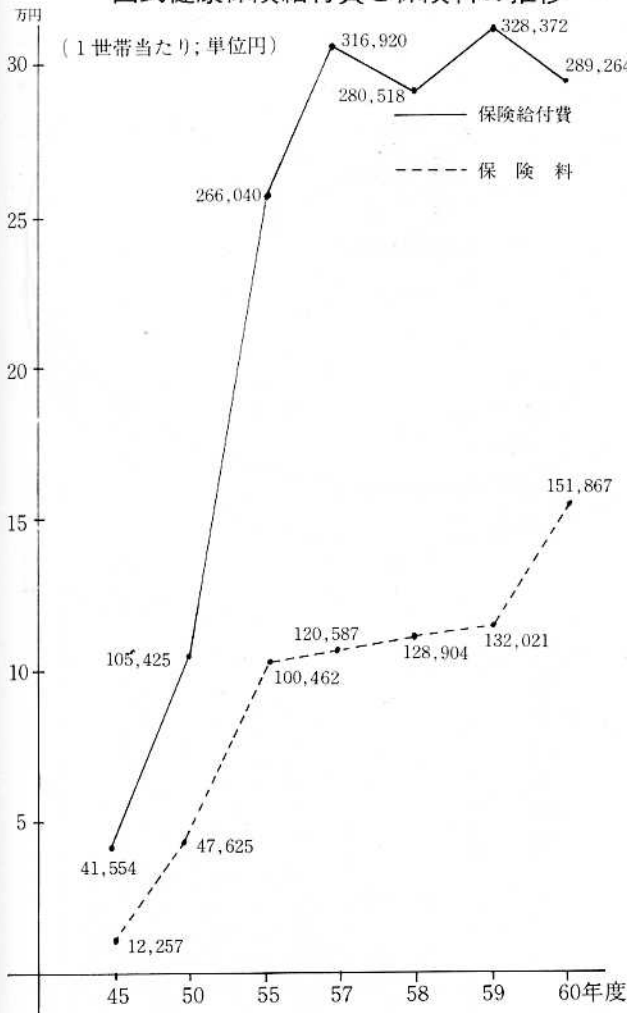
有線放送電話

有線放送電話特別会計の当初予算は、二千二百八十万円が見込まれています。その財源は使用料および手数料と施設負担金などが主なものです。
前年度に対して一九・四％の増となりましたが、この内訳は予想以上に急ピッチで進んでいるほ場整備事業に伴う電柱移転工事や線路の保守工事などが主な理由です。

病院事業会計

医療機関に恵まれない本村にとって唯一の施設であり、住民の健康を守るために大きな役割を果たす病院の予算です。
この病院事業特別会計は、独立採算経営を建て前として医療の適正化に努めています。本年度は、三億三千六百四十三万円を計上し、対前年比マイナス二七・八％となりました。これは前年度に病棟の改築と一連の環境整備が完了したことによるものです。

国民健康保険給付費と保険料の推移



新年度役員等決まる

みなさんの盛り上げと

ご協力をお願いします

です。役員だけに仕事を押しつけることのないよう、地域や団体ぐるみの協力と盛り上げがほしいものです。

新年度の役員は、次のかたがたです。

事務嘱託員 組長

- ◇ 神土 ▽大口 ▽古田純 ▽平 ▽田口治道 ▽下親田 ▽安江雅人 ▽上親田 ▽交告計孝 ▽中通 ▽高井吉男 ▽神付 ▽安江保 ▽中谷 ▽安江政年 ▽加舎尾 ▽今井周一 ▽西洞 ▽村雲恒雄

- ◇ 越原 ▽曲坂 ▽菊田武 ▽日向 ▽安江民雄 ▽陰地 ▽安江典博 ▽栃山 ▽桂川直衛 ▽黒淵 ▽安江只文 ▽大明神 ▽安江朝男

- ◇ 五加 ▽柏本 ▽交告英雄 ▽宮代 ▽今井建夫 ▽大沢 ▽藤井勝美 ▽下野 ▽古田鉦次 ▽久須見 ▽増谷弘子

P T A

- ◇ 小学校 ▽会長 ▽田口洋児 (平) ▽副会長 ▽安江哲男 (日向) ▽伊藤宏行 (平)

- ◇ 中学校 ▽会長 ▽安倍徹 (西洞) ▽副会長 ▽安江啓次 (神付) ▽村雲和男 (陰地) ▽村雲光好 (加舎尾)

子供会

昭和六十二年度の各種団休長や役員などが決まり、この四月から皆さんの代表として、また世話役として、ご苦勞を願うことになりました。

高校生保護者会

- ▽ 会長 ▽村雲次郎 (下親田) ▽副会長 ▽今井恰 (柏本) ▽田口節春 (西洞)

体育協会

- ▽ 名誉会長 ▽安江久夫 (日向) ▽顧問 ▽安江多策、田口博 ▽会長 ▽今井猛夫 (柏本) ▽副会長 ▽今井登 (平) ▽監事 ▽安江謙次郎 (平) ▽理事長 ▽安江進吾 (陰地) ▽副理事長 ▽安江司 (西洞) ▽今井俊郎 (陰地) ▽理事 ▽村雲利治 (柏本) ▽小池捷一 (西洞) ▽安江建夫 (平) ▽安江祐子 (大明神) ▽古田雅彦 (平) ▽桂川和巳 (黒淵) ▽安江正大 (日向) ▽松岡成子 (陰地) ▽安江洋次 (曲坂) ▽今井真子 (平) ▽神戸誠 (平) ▽安江修治 (平) ▽伊藤恵美 (上親田)

種目別部長

- ◇ 種目別部長 (一) 内は有線 ▽バスケットボール部 ▽村雲知己 (三〇八七) ▽バレーボールクラブ ▽安江雅彦 (三三八〇三三) ▽テニス部 ▽早瀬忠司 (二九六三) ▽野球部 ▽服田順次 (二五八二) ▽壮年ソフト ▽安江利勝 (二四〇六) ▽婦人ソフト ▽安江房子 (三六四五) ▽卓球部 ▽山口和久 (二〇一〇) ▽バドミントン部 ▽小池毅 (三九五七) ▽剣友会 ▽桂川公幸 (三六九五) ▽婦人バレー ▽新田美佐子 (二九三八) ▽クレー射撃 ▽野村孝 (二〇六六)

※各種目部では新しく仲間入りする人を募集しています。入部希望者は部長に連絡を。

文化協会

- ▽ 会長 ▽小池正二 (平) ▽書記 ▽古田栄作 (平) ▽会計 ▽安江敬一 (平)

婦人会

- ▽ 会長 ▽安江イトエ (下親田) ▽副会長 ▽神戸猶子 (平) ▽村雲美代子 (陰地) ▽書記 ▽安江さきえ (平) ▽会計 ▽安江きり (下親田) ▽神土支部長 ▽村雲春子 (平) ▽越原支部長 ▽田口佳津子 (大明神) ▽五加支部長 ▽安江もりえ (宮代)

青年団

- ▽ 団長 ▽安江修治 (平) ▽副団長 ▽今井克幸 (下野) ▽安江忠広 (下親田) ▽会計 ▽安江七美 (上親田) ▽神土分団長 ▽田口輝久 (中谷) ▽越原分団長 ▽今井繁人 (陰地) ▽五加分団長 ▽安江稔 (柏本)

以上が主な役員の方皆さんです。ほんとうにご苦勞さまですが村づくりの推進役としてご活躍をお願いします。

村職員の人事異動

四月一日付けで発令された人事により、異動した職員は次のとおりです。(一)内は前職。

- ▽ 総務課 ▽古田紀代子 (民生課) ▽越原保育園 ▽安江フミ子 (五加保育園) ▽五加保育園 ▽安江るみ (越原保育園)

職員の退職・採用

薬剤師の吉田和史さんはじめ二人の方が退職。そして新採職員として新しく七人の皆さんが仲間入りし、それぞれの持ち場でベストを尽くしています。

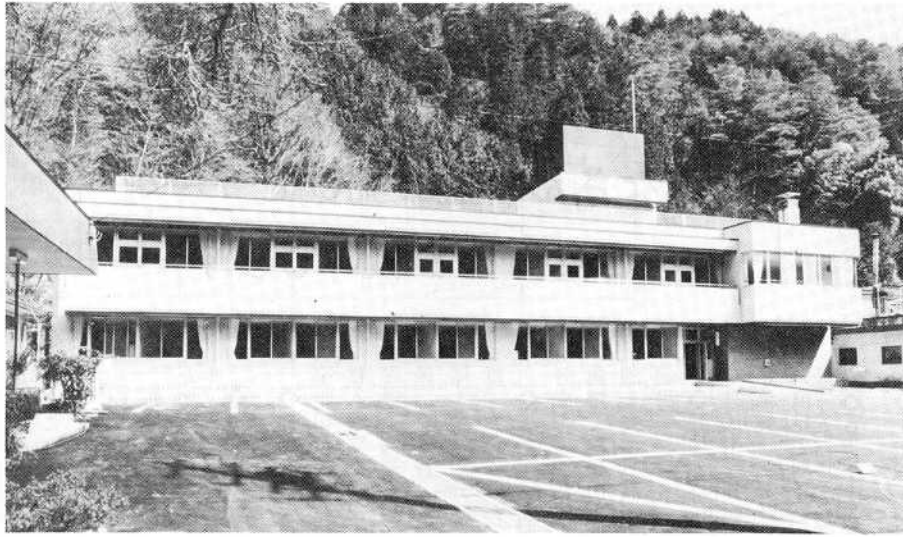
〔昭和六十一年四月二日から六十二年四月一日までの異動〕

退職

- 吉田和史 (薬剤師)、三戸美穂 (主事補)

新採用

- 田口光洋 (教育委員会)、佐々木龍志 (薬剤師)、瀬戸垣静 (看護婦)、桂川ゆり (看護婦) 伊藤かつえ (保母)、熊澤めぐみ (保母)、今井真紀子 (主事補)



旧病棟とほぼ同じ位置に、新しく生まれ変わった東白川病院病棟

快適な入院施設が完成 病棟を全面改築

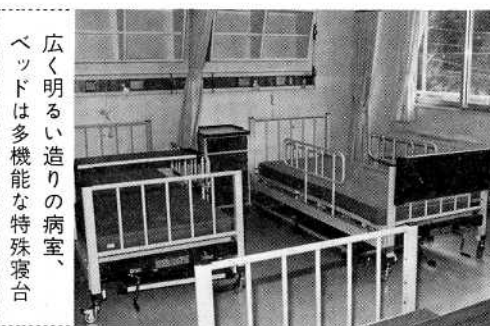
病棟の近代化が強く要望されていたものです。
新しく完成した病棟は、旧病棟とほぼ同じ位置ですが、旧隔離病棟と事務室のあった位置が駐車場となり約三十台の駐車が可能となりました。

昨年の九月から工事が進められていた東白川病院病棟の改築工事は、このほど完成し三月二十七日に工事関係者らが集まり竣工式が盛大に行われました。旧病棟は、昭和四十年に建設された木造二階建てで、二十八床全室が個室でした。しかし、建物の老朽化が激しく、駐車場が狭い、病室が狭く病室内の治療に不便、木造のため消防施設の改善が必要などの理由から

総事業費は一億八千三百九十六万七千円。鉄筋コンクリート二階建て一部三階（塔屋）、建築面積九七一・一七平方メートル。一階には、病室九室、調理室、食品室、休憩室、配善室、看護婦詰所、仮眠室、薬品室、機械室、浴室、便所、身障用便所、倉庫、リネン室、エレベーター、洗濯洗面室、玄関、ホールなど。

二階は、病室八室、機能訓練室、医局、談話室、便所、身障用便所、洗濯洗面室、倉庫、リ

建物の二階に設けられた
広々とした談話室



広く明るい造りの病室、
ベッドは多機能な特殊寝台

ネン室、避難はしごなどを備え、三階は給水槽、機械室となっています。
病室は、広く明るい造りとなっており、一人部屋（五室）、二人部屋（十室）、四人部屋（二室）の三十三床。ベッドは多機能な特殊寝台を備え、機能訓練（リハビリ）室も広く間取られています。
同病棟はこれから益々進む高齢化社会に向けて、寝たきり老人対策、保健医療対策などに十分対応できる設備、機能を備えています。安心して利用できる明るい入院棟としてお気軽にご利用ください。
なお、この施設は企業債Ⅱ国民年金の還元融資を受けて建てられた施設です。

盛大に行われた東白川病院
病棟竣工式（村民センターで）





社章＝岐阜部品のGとはなのきの葉を図案化



岐阜部品(株)が本格操業

＝ 過疎化に終止符と期待 ＝

昨年八月に誘致企業として岐阜部品株式会社が進出して以来、仮操業を続ける傍ら東白川村と第三セクター株式会社東白川の手によって、新工場と関連施設の建設が進められてきました。このほど完成し、賃貸方式という新しいシステムにより、石井孝之社長、従業員百九十八人で本格操業を始めました。

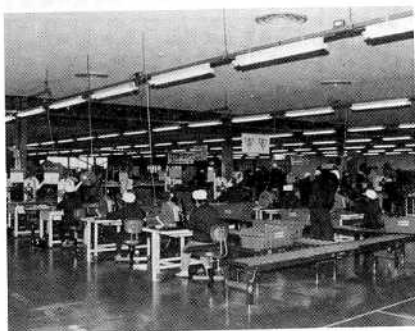
三月二十四日の本社工場竣工式には、矢崎総業株式会社社長はじめ百五十人の関係者が集まり盛大に行われました。式典は修祓式、開所式と続き来賓祝辞の中で矢崎総業の矢崎社長は「地域に密着し、地域とともに発展する企業づくりを目指し、社会に役立つ製品をつくり、いつも明日を見つめて挑戦する」

と矢崎イズムの企業理念と経営姿勢を示し、企業と地域社会の発展に貢献することを約束しました。

本格総業を始めたのは、自動車部品メーカーの矢崎総業の関連会社によって設立された岐阜部品株式会社。村と民間出資者で組織する第三セクターの株式会社「東白川」が、約二万八千平方メートルの敷地を造成。鉄骨平屋建て工場棟や厚生棟など合わせて約六千五百平方メートルを総工費約四億円で建設し、岐阜部品に賃貸するシステムを導入した。岐阜部品は、自動車用の電気回路の電線をまとめた製品（ワイヤハーネス）の専門工場で、資本金一千万円、年間出荷額は三十億円を見込んでいます。

ジョイント工程

本社工場前工程ライン



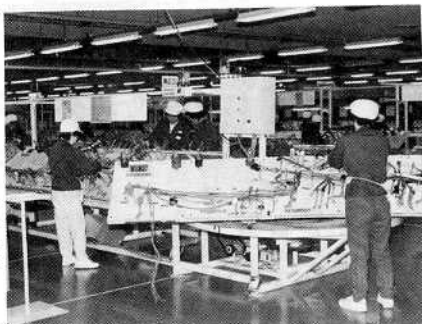
岐阜部品(株)本社工場竣工式
であいさつをする石井社長

また、本社工場を拠点に他町村に分工場（付知町、国府町）を置き、外注加工所（村内、加子母村、高山市）、外注・内職など含めて千人以上の就業者を見込んでいます。したがって、相互にメリットを追求しながら共に発展する可能性は大きく、本村だけでなく周辺町村を含めた広範な地域におよぼす効果は大きいものと期待されます。

本社工場は今年中には従業員を二百二十八人まで延ばす予定で、昨年八月から今年の二月までに男女合せて二十七人のウターンがあり、村民の就労の場が拡大され、長い間続いていた人口の減少に終止符が打たれ今後とも伸びるものと期待されています。

ワイヤハーネス組立工程

本社工場後工程ライン



ヨーロッパ アメリカ見聞録

④



東白川小学校
教諭 村雲 芳明

昨年の文部省教員海外派遣団の一員として、東白川小学校教諭、村雲芳明先生が参加され、約一か月間ヨーロッパとアメリカの教育事情を視察し帰国されました。その手記を四回にわたって出稿いただきましたが、最終回の今号はアメリカの巻です。

アメリカの巻

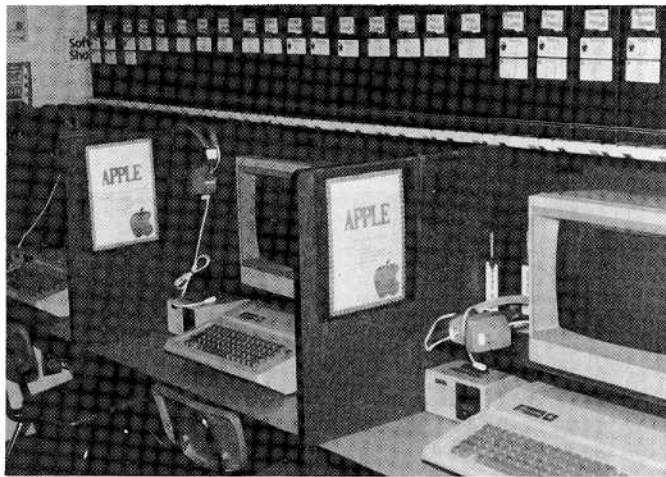
十月四日、スペインを後に、いよいよ最後の訪問国、アメリカ合衆国、ケネディ空港に降り立った。辺りはもう真っ暗であつたが、灯りで夜空に浮かび上がったエンパイヤステートビルは印象的であつた。

翌日、この展望台から見た摩天楼群には、ただただ圧倒されるだけであつた。さすが生き馬の目を抜く世界経済の中心地、ニューヨークである。しかし、犯罪都市としても有名であり、我々が歩いているときも大声でわめいて逃げていく黒人を見た。思わずバッグをかかえ込んでしまった。

翌六日は、首都ワシントン市

内の視察に出かけた。ニューヨークのような摩天楼群もなく、けばけばしさもない、実に落ち着いた街である。ポトマック川を中心に、一辺が十六キロメートルの正方形の都市として設計された、緑の多い街でもある。ホワイトハウス、リンカーン記念館、スミソニアン博物館などを超スピードで見てまわり、またニューヨークへもどる。翌日、シアトルに向けてニューヨークを発つ。途中ミネアポリスで給油。同じアメリカなのにシアトルに着くまで飛行機で七時間。日本ではとても考えられないことで、その広大さがわ

かろうというものである。シアトルで夕食をとり、そこからバスで二時間。最後の学校訪問地ヤキマに着いた時はもう夜の九時であつた。ヤキマはもともインディアンの町であり、現在でもインディアンの村がある。また、日系人も多く、ヤキマでの最後の夜には、寿司や赤飯、みそしるなどで、盛大なパーティを開いていただき、洋食に飽きていた我々を大いに満足させてくれた。さて、ヤキマでの学校訪問は翌八日から始まった。三日間でノブビル、パーズリンカーン、ガーフィールド、ロバートソンの四小学校とヤキマバレーカレッジを訪問した。小学校はいずれも人の名が冠せられており、日本の学校名とはずいぶん違うものである。どの小学校も校長先生がすごい自信を持っておられ、「うちが一番だ」とか「あの先生は市で一番の音楽の先生だ」と



ガーフィールド小学校のコンピューター室

紹介される。見習わねばならないことは、どの先生も実に楽しそうに授業をやってみえることである。またコンピューターが導入され、ガーフィールド小学校ではコンピューター室に専属の先生が四人もみえるのは本当に驚かされた。日本でもその必要性が言われるようになってきており、遠からずガーフィールド小のような学校が増えてくるであろう。以上で、海外研修の手記を終わらせていただきます。

戸籍の窓

三月 敬称略



誕生おめでとう
ございます

(平) 田口 眞澄

友子 (長女)

(中谷) 樋口 春市

綾女 (長女)

(加舎尾) 樋口 章久

桂 (長女)



いつまでも
おしあわせに

今井 信好 (大沢)

小池 きよ (白川町)

日下部行美 (加子母村)

三戸 美穂 (大明神)

桂川 伸彦 (川上村)

安江三千代 (日向)

蒔田 正敏 (陰地)

今井さゆり (陰地)



おくやみ
申しあげます

鷺見きく江 73歳 (神付)

安江 きよ 59歳 (陰地)

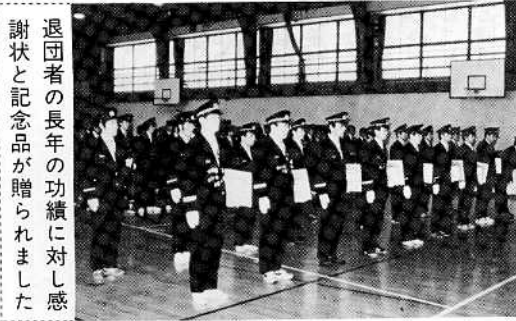
今井 貝子 87歳 (宮代)

安江 ふで 92歳 (上親田)

新体制で村の守り

今井副団長ら22人が退団

新しく23人が入団



退団者の長年の功績に対し感謝状と記念品が贈られました

昭和六十二年度の東白川村消防団入退団式が三月十五日、中学校体育館で行われました。長年村の消防活動に貢献された今井照夫副団長はじめ二十二人が退団され、これに替わって新しく二十三人が入団しました。

式は、午前十時から始まり退団者に村長から記念品と感謝状が贈られ、長年の苦勞をねぎらうとともに、その功績をたたえました。

また新しく消防団員として今後村の防火、防災にご苦勞いただく新入団者へは、中島団長から辞令が交付され、入団者を代表して村雲成治さんが力強く宣誓しました。

新年度の幹部構成も次のとおり決まり、中島団長以下百九十人の新体制で村の守りがスタートしました。退団者、入団者および新年度幹部構成は次のとおりです。
〈敬称略〉

退 団 者

- ▽副団長―今井照夫、服田順次
- ▽分団長―栗本重秋、安江好成、村雲輝孝
- ▽副分団長―島倉芳博、栗本忠行、今井政信
- 安江洋次、田口秀久
- ▽部長―大坪正信、安江司、田口良次、村雲久夫、安江勲、今井利隆、
- ▽班長―田口和博、田尻貢、田口博光
- ▽団員―大坪克臣、島

倉正明、安江章吉
入 団 者

▽本部―山田久陸
▽第一分団―村雲成治、田口正昭、安江一真、安江孝洋、田口義孝、安江繁人、安江正明、安江一郎、村

雲章、村雲史朗、樋口成那
▽第二分団―安江一夫、安江道和、今井英樹
▽第三分団―村雲孝祐、安江健、稲垣隆、安江一英、安江敏、田口正幸、安江久光、▽ラッパ隊―安江全生

道路交通法の一部改正

四月一日から施行

交通事故を減らし、安全な交通環境をつくるため昨年、道路交通法の一部が改正され、四月一日から施行されました。主として、罰金・反則金が次の

表のとおり引き上げられました。そのほか、交通反則通告制度(青切符)の適用範囲の拡大、行政処分の基礎点数(違反点数)の一部が変わりました。

道交法の一部改正による道交法違反の反則金額一覧表

(単位:円)

違反(反則)行為	反 則 金 額			
	大型	普通	自二	原付
速度違反 25km/h以上 30km/h未満	25,000	18,000	15,000	12,000
速度違反 20km/h以上 25km/h未満	20,000	15,000	12,000	10,000
速度違反 15km/h以上 20km/h未満 しゃ断踏切立入り等	15,000	12,000	9,000	7,000
速度違反 15km/h未満 信号無視(赤色等)・通行区分違反・整備不良車両(制動装置等)等	12,000	9,000	7,000	6,000
信号無視(点滅)・通行禁止違反・一時不停止・整備不良(尾燈等)等	9,000	7,000	6,000	4,000
駐 停 車 違 反	15,000	12,000		7,000
駐車違反、駐停車方法違反等	12,000	10,000		6,000
定員外乗車・路線バス等優先通行帯違反・警音器吹鳴義務違反等	7,000	6,000		4,000
交差点右左折方法違反・初心運転者標識表示義務違反等	6,000	4,000		3,000
免 許 証 不 携 帯 等		3,000		

女性週間

■善意の寄付―敬称略
【社会福祉指定寄付金】
現金三万円―安江勇夫(陰地)、現金二十万円―安江正文(神付)、現金五万円―安江新一(上親田)

4月10日〜17日

四月十日から十七日までは婦人週間です。今年のメインテーマは「女性の能力や役割について固定的な考え方を見直そう」です。

婦人週間は、終戦直後の昭和二十一年四月十日に実施された総選挙で、初めて婦人の参政権が行使されたのを記念して昭和二十四年より設けられました。終戦直後から現在までに、女性をめぐる環境は大きく変わりました。例えば、出生児数の減少、電気製品の普及で家事・育児の負担が軽減され、女性のライフサイクルが大きく変化し、子育て後の期間が非常に長くなっています。社会のあらゆる分野において、男女がともに役割と責任を果たしていくようにするために、女性の能力や役割についての固定的な考え方を見直すことが重要であり、今回の婦人週間は各方面から強い関心を集めています。

同和学習コーナー ⑥

同和問題は
国民的課題

「私は別に何とも思っていない」「私は差別なんかしていない」「差別されるのはされる方が悪いからだ」……。

このように人がよくあります。人ごとと考え、自分はこの問題と関係を持たないでおこうとする、いわゆる傍観者なのです。

このような考え方からは、同和問題を解決する姿勢が生まれてこないばかりか、同和問題をそのまま放っておくことになるのです。同和問題に対する傍観者は差別者であるともいえます。

一、足もとの問題として

とりくもう

まず、理解しなければならぬのは、この世の中に同和問題だけがぼつんと存在しているのではないということ。いろいろな差別と根を同じくして部落差別が存在していることに気づくことが大切です。

差別一般という観点からすれば、差別されているのは同和地区の人々ばかりではありません。

私たちの生活の中には実に多くの差別が存在しています。すなわち性別、能力、貧困、家柄、職業、学歴などによって差別したりしているのです。

ですから国民のすべてが、差別を自分とかわりのある足もとの問題としてとらえ、「いかなる差別も許さない人間」を目指して自分を高めていくことが何よりも重要です。

二、差別的な精神風土の

改善にとりくむ

社会には、不合理な同和問題を頂点として、いたるところに前近代的な風俗、習慣や人権尊重の道理に合わない生活態度がみられ、その中に偏見や迷信がまことしやかに生きています。

外国の人々からも、日本人は何人が集まると必ずお互いの優劣、上下を決めないと落着かないようにみられます。今日の日本の社会にみられる前近代性が部落差別を支え、温存し、助長してきたといえるのです。日常生活をよく見直したいものです。

三、見つめ直そう

差別の眼

このように差別は、私たちの身近な日常生活の中にあつて、知らず知らずのうちに行為されています。ひるがえって、私たちの日常生活をよくよく見つめてみると他人のありさまを見て、自分より以下の人と考えたり、不当に格付けしたりして、自身自身の心の安定を図ってきたことに驚くばかりです。

たとえば、身体障害者に対する差別に見られるように、その人々の願いや努力を知ろうとはせず、ただ単に自分の嫌悪の感情をもって見たり、自分とは違う、また自分より以下の人間と

思ったりして差別してしまうことではないでしょうか。

その人々は、生きることや社会参加のために健常者の十倍、二十倍の努力をしています。その人たちのためにどのような手を差しのべたか、自分に問いかける必要があると考えます。

私たちは、恵まれた環境や生活の中にどっぴりどっぴりとして、他人に対する温かい、やさしい思いやりの心と行動を忘れがちではないでしょうか。無関心は現状を温存するものであり、また優越心は差別心となることに気付かなくてはなりません。そして、それらが差別の根つ子となつて、部落差別に発展するのです。

ふるさとづくりは同和学習から

日常生活における人間関係の基礎になるものは、地域・家庭・家族・名前です。これらの「からだ」「家」「生まれたところ」は、だれからも犯されたい人権です。

緑や水がいくらきれいで、そこに住む「人間関係の美しさ」がなければ、本当の「ふるさとづくり」になりません。「ふるさとづくり」は、自分が生まれた所に誇りを持ち、育った所に親しみをもち、そのうい地域社会づくりが大切です。

今、日本人に最も問われていることは、精神構造が依然として「たて」社会になっていることです。「たて」だけを尊重するのではなく「よこ」の連帯をつくり出していくことこそ、これから必要なことです。

そこで初めて、自立する人間、自ら考え、責任のある行動のとれる地域社会が花咲くのです。そして、大切なことは、今後とも増々広がる国際化社会の一員としての資質を高めることで、同和学習の基本です。

河川美化月間

水辺に潤いと

ふれあいの環境を

春の気配を感じてみようと川辺に行ったら、ゴミの山。春の気配どころか、がっかりして帰ってきた……。こんな経験はありませんか。

四月は「河川美化月間」です。河川をきれいにする意識を高めようと、建設省が昭和四十六年から行っている月間行事です。

日本には、どれくらいかあるかご存じですか。国が管理する一級河川、都道府県管理の二級河川、市町村管理の準用河川、このほか指定外の普通河川も多く、日本の河川の総延長は約三十二万八千キロとなり、何と地球の八周分もあるから驚きです。

私たちの生活にとってあまりにも身近な川。その重要性は今さらいうまでもありませんが、美化運動を支えるのは私たち一人一人の努力です。最近では魅力あるまちづくりの一環として潤いとふれあいのある水辺環境の形成にスポットが当てられています。いつまでもきれいに、そして安全に利用したいものです。

八百津町「敬和園」で奉仕活動をするジュニアリーダー・クラブ員たち



この体験は、これからの学校生活、社会生活にとって、かけがえのない心の支えになることでしょう。

クラブ員たちは、特にここでは働く職員のすがすがしい働きぶり、老人の人々に接する温かい姿に感動したようです。

子供会などの指導に活躍している白川高校生一、二年生を中心としたボランティアクラブのジュニア・リーダーたちが三月十九日、八百津町の特別養護老人ホーム「敬和園」を初めて訪問しました。

当日、所長さんの話を聞き、園内を案内していただきました。その後、洗い物のたたみ、ガラ

東白川JLCが「敬和園」を訪問

ジュニアリーダークラブ

⑤ 今日も元気で 目覚めから眠るまで

「食欲がありませんか」という質問に「ライスカラーなら三杯くらいは食べます」と堂々と答えてくれる方が少なくありません。

しかし、好きなものならたくさん食べるというのは、本当の食欲とはいえません。

朝食と食欲

朝の体操で 食事をおいしく

食欲とは、いろいろな種類の食べ物をいつでも食べたいと思う健康状態のことだからです。さて、朝食で

「寝起きに食欲なんかあるものか」とおっしゃる方には、朝の体操をおすすめします。特に肥満防止のために減食中の方

は、朝食を豊富にとることが大切で、夕食を制限するだけでもウエイト・コントロールは可能です。食欲のないときこそしっかりと食べよう

このチョツとした注意が身体の調子の狂いを元に戻す力になります。逆に食欲不振→栄養不足→身体の変調→食欲不振の悪循環が、多くの場合、軽い病気を重篤化させています。

「良い食品」だけでは健康は保てない

快食とは種類をたくさん食べることであり、その意味でいわゆる「良い食品」「悪い食品」などといった心配は必要です。いかによい食品でもそれだけを食べているのでは健康は保てません。

一方、悪い食品といわれているものでも、たくさん種類のの中の一つや二つである限り大丈夫です。その意味で食品と薬は全然違うのです。しかも、多くの種類の食品を食べることは、食塩の摂取を制限するのにも役立ちます。

本来「保健指導」というのは各人が持つ不安感を解消し得てこそ、その意義があるのであって、不安を押しつける「保健指導」とか「健康教育」は、健康を守るためには何の役にも立ちません。



お知らせ



優良納税 集落を表彰

昭和六十一年度の最終事務嘱託員会議が三月三十日村民センターで開かれました。席上、優良納税集落として下野、宮代の両集落に村長から感謝状と金一封が贈呈されました。

これは、村民民税・固定資産税・軽自動車税の三つの税を納期限内に完納された集落で、下



優良納税集落として感謝状を受ける下野組長今井馬吉さん

野集落については、昭和五十七年度から六十一年度までの五年連続の輝かしい実績を残されました。

組長さんはじめ集落の皆さんの納税に対する深いご理解のたまものです。

無料登記相談所を開設制度百周年記念

不動産登記制度は、今年の二月一日をもって制度施行百周年を迎えました。これを機に登記制度の意義と役割について、みなさんに幅広くご理解をいただくため次のとおり「一日無料登記相談所」を開設します。

不動産登記（売買・相続・贈与による所有権多転、土地の分筆、地目の変更、建物の新築・増築など）、商業法人登記（株式会社・有限会社の設立・役員の変更など）に関連する法律相談はお気軽におでかけください。▽日時 五月一日、午前九時～

午後四時まで

▽場所 岐阜地方務局美濃加茂支局Ⅰ美濃加茂市本郷町七丁目四一―六

▽相談担当者 法務局職員（登記官）、司法書士、土地家屋調査士

ご存じですか？

行政相談委員

皆さん「行政相談員」をご存じですか。皆さんの中には、国、県、市町村や公社、公団が行っている仕事について――

- どうしても納得がいかない
- どうしてもよいかわからない
- こうしてほしい
- 処理が遅い
- 不親切な扱いをうけた

など、苦情、要望、意見などをお持ちのかたが多いのではないのでしょうか。行政相談委員は、総務庁長官が特にお願いして役所に対する苦情などの相談相手となつてもらえる民間の有識者です。

わたしたちの村では、金尾竹雄さん（越原除地、有線三三七三番、NTT八―二五三三番）が委嘱されています。どんなことでもご相談ください。村民センターで定例相談所を開いているほか、自宅ではいつ

でも相談に応じてくれます。相談は無料で秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

労働保険の申告納付期限は5月15日まで

労働保険（労災保険・雇用保険）の六十一年度確定・六十二年度概算保険料の申告納付はお済みになったでしょうか。

申告納付の期限は、五月十五日となっておりますので、まだ済まされていない事業主は早めに申告納付の手続きをお願いいたします。

なお、手続きなどでお分りにならない点がありましたら、関労働基準監督署（☎〇五七五二―二―三三二五―一）へお尋ねください。

一輪車（原付・自動二輪）の事故防止

春の訪れとともに、街中を壮快に走る二輪車（原付、自動二輪）が多く見受けられるようになりました。

二輪車は、若者からお年寄りまで幅広く愛用されていますが、その分、交通事故も増加傾向にあります。

こうした二輪車の事故を防止するためには、まず二輪車の特性や危険性を正しく理解する必要があります。

- ◎ 二輪車の特性、危険な側面
- 急ブレーキを掛けるとバランスが崩れ、転倒する危険がある。
- 人と車が一体となった高度なテクニクが必要。
- ブレーキが手と足二系統に分かれタイミングをとるのが難しい。
- 体が露出状態で、転倒すると大けがをすることが多い。
- ◎ 二輪車事故防止のポイント
- 自分の技量を過信せず、状況に応じた安全速度で走る。
- 四輪車の死角に入らないようにし、運転者自身も明るい衣服、反射テープなど見落されないう工夫をする。

有線電柱の古材

お分けします

有線電柱の古材を処分します。現在、越原上校舎の広場に約二十本の有線電柱の古材があります。一本五百円程度でお分けします。

ご希望の方は、有線本部または総務課企画財政係へ申し込んでください。

ふるさとの花

16

ウツギ (空木)



卯の花のおう垣根に

ほととぎす早もきなきて:

ウツギは、ユキノシタ科ウツ

ギ属の落葉灌木で、東白川村に

は山すそや畑のすみの石垣など

に自生します。

樹高は一、五メートルくらい

幹は中空で多く分枝します。晩

春から初夏にかけて五弁の真っ

白な穂状の花が咲きますが、雅

趣豊かなものです。

和名「空木」は、幹がウツロ

の木の意味で、ウツロギともい

います。別名をウノハナと呼び

ますが卯月(陰暦四月)に咲く

のでこの名「卯の花」となった

という説もあり、ネズミをネ、

ウサギをウというように、ウツ

ギをウと簡略に呼び、あとに花

をつけてウノハナとなったとも

いいます。

ウツギの材はたいへん堅く、

木工家具などに使用する特殊な

木釘を作るのに適します。古代

人はこの堅さを利用してヒノキ

と摩擦し、火を起こしたとい

ます。

ウツギの葉は表も裏も星状の

毛があり、ざらつくので、昔は

「糸引き」に利用しました。煮

立てた繭の中にウツギの葉を何

枚か束にしたものをに入れてかき

回すと、それに糸口がよく引つ

かりました。

ウノハナによく間違えられる

ものにタニウツギがあります。

これはスイカズラ科の落葉低木

で紅色の筒状の花をつけますが

ウツギとは、まったく別のもの

です。また、庭木などにされる

ハコネウツギも、花が白から紅

に変わってきれいなものですが

これも別種です。

ウツギの咲くころは長雨が多

く「卯の花腐(くた)し」とい

われます。うっとうしく雨が降

つたり、どんより曇ったりする
毎日が続きますが、ウツギの咲
いたところだけ、ほのぼのと明
るく感ずるといので、この花
は俳句に多くうたわれます。



今月の図書



花も嵐も踏みこえて

京 唄子著

女として、母として、女優として、京唄子が、ひたすらに生きた人生を、涙と笑いでつづる感動の自伝。チンドン屋の子として生まれ貧しい生活の中で常に明日に夢を抱き、それを芸の道に生かし続けた人京唄子。

生いたちのこと、恋のこと、芸修業のことを正直に書かれた一冊です。ぜひ一人でも多くの方に読んでいただけたらと思います。

赤い夕日の大地で

良永 勢伊子著

40年前、満州に捨てた娘が生きていた。中国残留日本人孤児の悲劇はなぜ起ったか。飢餓と焦燥の極限状態において親子のきずな、戦争とはなにかを問いかける作品です。

人間であるが故の切なさというものを、わたしたち人間は、大小の差こそあれだれしも背負って生きている。その根底にあるものは、生への渴望であり讃歌です。

作者は、人間というものを見つめる目があつたから素晴らしい作品が書けたことと思ひ、推選する一冊です。

今月の料理



うずら卵と

野菜のくず煮

【材料】四人分

うずら卵八個、にんじん七十疋、たけのこ百疋、干しいたけ三枚、ピーマン二個、煮汁(スープ)カップ四分の一、砂糖小さじ二・しょう油大さじ四・片栗粉大さじ一)油

【作り方】

①うずら卵はゆでて殻をむき、にんじんは固ゆでして乱切りする。たけのこも同様乱切りし、干しいたけは水でもどして二つにそぎ切りし、ピーマンはタテに四つ切りにします。

②中華鍋を熱して油をなじませてから、にんじん、たけのこ、しいたけを強火で炒め、分量のスープを加えて砂糖、しょう油で味をつけ、うずら卵、ピーマンを加えて煮立て、水溶きの片栗粉でとろみをつけて仕上げます。

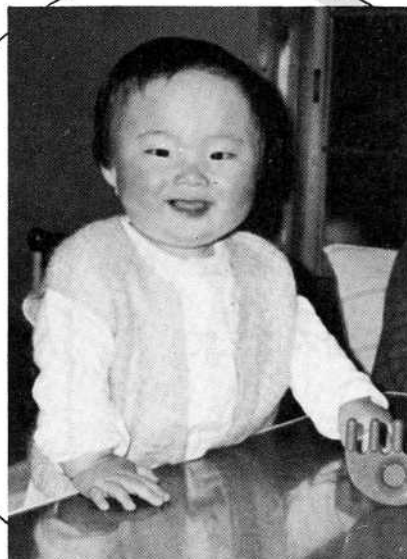


カメラの目

卒業記念に校歌額 親子共同で作成

3月25日、小学校の卒業式が行われました。緊張ぎみな卒業生54人の一人一人に、三宅校長から「卒業おめでとう、これからも頑張ってください」と励ましの言葉とともに、卒業証書と校長自筆の色紙が手渡されました。

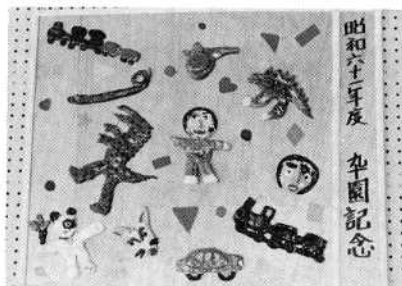
6年生は、卒業記念のため夏休みに入ったころから親子共同で作成してきた校歌額(縦2.1m、横3.7m)を卒業生全員で除幕し学校に贈りました。校歌額は、体育館のステージ左側の壁に掲げられ、1文字ずつ親子で責任を持って彫り上げた立派なものです。作成に当たっては、次の方々のご協力をいただきました(山共製材所、下野=今井直美さん、荻田喜作さん)



楯 智行くん(一歳)大明神 光一さん・里美さん長男

すくすく育て

子供の作品



昭和六十一年度卒園児 卒園記念作品 五加保育園



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日までに、神戸伊藤重雄宛に出してください。

- 笹師の意気の揃ひて打つ蔭に流るる川面を木は渡り来ぬ 今井 修子
- かつにて怪我をせし手は痛めども今日も感謝すわが身の幸を大沢今井 信子
- 手編する緑のセーター色冴えて針の手もとに春日やわらぐ 三戸 きり
- 接木する老眼鏡の曇りをば土に坐りて時々拭ふ 早瀬 勇造
- 亡き母の面影偲び仕舞ひ置く手織りの着物は着ることもなく 安江 澄
- 恵那山の雪解日和に友誘ひ初庚申の祭りに詣づる 安江 竜玉
- 陽足伸び陰地の畑も黒み増し凍てつき居りし春菜萌え始む 伊藤 美枝
- 毛糸編む炬燵に昼を嫁と居て今日受験する孫を氣遣ふ 今井 かな
- 長良川朝霧こめし川の面に見えかくれ翔ぶ白鷺の群 田口 一枝
- 立春と暦に言へど今朝の冷え子らは頬染め足早やに行く 安江 節子
- 朝夕の座骨の痛みに在りし日の老母の床なる呻きを憶ふ 安江 守平
- 淡雪を踏みしめながら訪ぬれば一人居の纏綿入れ縫ひ居り 安江とし子
- 髪染めて鏡に对かひほほゑめば母かと思ふ顔が映れる 小池 弘子
- 仕事了へ帰り時間の真夜中にライトを浴びて逃げし仔だぬき 早瀬 久子
- 今年から発心をして日記つけ雪降りしこと犬の散歩まで 安江すみよ
- 黙々と童の如く飯を食む母は九十の齢かさねて 安江 幸
- 枝打ちの梯子に見下す集落に豆腐並べし如き整田 安江 香
- 父母逝きませしより三十年尚守りませ我が家うからを 今井 弘恵
- 六人の兄弟なりし吾が人生喜寿とふ歳に一人遺さる 伊藤 重雄
- 中で虫の角の上なる争ひもよく見定めて悔を遺さじ 大事を四月 山川 洌
- 荒みゆく世を哀しめど承らへて春柔かき土に種時く 田口 良三